

要請番号 (JL05722B05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モルディブ	C103 野菜栽培	20～45 歳のみ	個別	新規 1代目	2年	・2023/2・2023/3・ 2023/4・2024/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

漁業・海洋資源・農業省

2) 配属機関名 (日本語)

ハニマードゥ農業センター

3) 任地 (ハーダール環礁ハニマードゥ島) JICA事務所の所在地 (首都マレ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はFAOのプロジェクトのもと、1955年に国内の家畜産業発展を目的に設立された。設立以降、北部地域における農業の普及と活性化を目指す国内最大の農業センターとして事業規模を拡大している。漁業・海洋資源・農業省(以下、農業省)所管のセンターであり、敷地内に事務所、研修所、実証圃場を有する。2022年7月現在、スタッフ数は17名であり、3環礁内の地方島26島を対象とし、農家の訪問やワークショップ等の開催を通じて営農支援を行っている。また、農業に関心のある住民を対象とした短期農業研修、農家や学生対象のインターンシッププログラムを実施している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国の基幹産業は観光業と漁業であり、リゾート等で提供される作物のほとんどは輸入品である。一方、地方島における農業コミュニティは年々増加し、現在では住民島約200島のうち74島の住民約7,000人以上が農業に就き、多くの農作物は国内で消費される。同環礁内では約600名が伝統的農業を行っているが、知識不足、過度な農薬使用、不安定な収量等の問題に直面している。これら問題を解決すべく農業省は重要政策の一つとして、農業生産工程管理(GAP)を推進しているが、各島には営農に関する高い知識・技術を有する常駐人材がおらず、農家へのきめ細やかな支援は限定的となっている。配属先はセンター内での技術指導のみならず、周辺の島への巡回指導を通じた安心安全な野菜・果物の生産、安定した収量確保による農家の収入向上、充実した研修実施をサポートする人材を必要とするため今回要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. センター所有の実証圃場において、新作物の品種試験や実演等を行い、現地の気候風土に合った野菜栽培を支援する。これまで、きゅうり、唐辛子、かぼちゃ、バターナッツ、ズッキーニ、トマト、キャベツ、スイカ、パパイア、バナナ等の栽培実績あり。2. カウンターパートと共に島内および周辺地方島の自給自足農家や家庭菜園者を訪問し、より効果的な栽培方法や農薬の適切な使用方法の助言および技術指導を行う(3環礁内の26島が対象)。3. 農家にとり経済的に重要な特定作物(チリ、パパイア、スイカなど)の総合的病害虫管理(IPM)に関して、農業普及員を支援する。4. 今後多目的研究所が設立されるため、可能であれば、植物組織培養、土壌分析、植物病理学の知識を農業普及員に伝える。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

圃場、温室、水耕栽培設備、灌漑設備、肥料生産のためのシュレッダー、パソコン、プリンター、机、いす等

4) 配属先同僚及び活動対象者

農業普及員3名(男性、30～40代、経験年数15～20年、ハイテク農業課程修了)アシスタント農業普及員(男性、30代、経験年数14年)アシスタント農業普及員(女性、20代、経験年数2年)圃場スタッフ5名(男性、40～50代、経験年数15～18年)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒）農学系 備考：配属先の指定条件

[性別]：（男性） 備考：男性の多い職場のため

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：配属先のレベルに合わせるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（28～32℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

住居は農業センターの敷地内にあるスタッフ専用宿舎で、隊員専用シャワー・トイレ付の1室が提供される予定。AC設備なし。